

成參復第二號

南方軍復員ニ關スル規程

(略稱「規程」)

昭和二十年十一月十二日

南方軍總司令官

大命ニ基キ南方軍ノ復員ニ關シ左ノ進定ス

一、總 則

第一條 南方軍各部隊ノ復員ハ歸還輸送ノ實施ニ伴ヒ内地陸後送カニ之ヲ完結スルヲ本則トス

第二條 復員實施ニガリテハ各級指揮官ハ精神教育ノ徹底ヲ期シ特ニ承諾必謹タル皇軍ノ眞姿ヲ

表現スルニ注意ナカラシムルモノトス

第三條 復員管線官(以下管線官ト略稱ス)ハ各乘船地區ノ最高指揮官又ハ其ノ命ズル所管長官

ノ權限ヲ有スル長官トシ復員ノ實施ハ各獨立部隊(從來ノ獨立部隊、軍區分部隊及特別歸還

人員(補隊)ヲ以テ復員成セル部隊(聯合國側ヨリ指示セラレタルモノヲ含ム)ヲ謂フ以下同

シ

第四條 復員ハ内地陸上陸海灣ニ於テ完結スルモノトス

第五條 復員官ハ復員管線官現地出張ニシテ準備ヲ完了セシメ爾後ニ於ケル管線官業務中外地區不

同ノ規定ニ依リテ各級指揮官(例ヘバ完結日ノ決定)ハ所屬ニ關シ各級指揮官ニ委任スル事ヲ指

0372

但シ將校、下士官及陸軍文官（調停者及従軍中ノ文官ヲ含ム）ノ人事處理ハ委任セザルモノトシ所管長官ニ遷終困難ナル場合ニ於テハ復員部長ハ其上陸地ヲ管轄スル軍管區司令官ニ上申（申請）シ該司令官ノ處置ヲ待ツモノトス

第六條 復員ノ實施ハ左記ニ據ルモノトス

一 既存ノ部隊ヲ建制輸送セラルル場合ハ各該立部隊ノ主力（司令官、隊長ノ位置スル部隊）ノ復員完結ヲ以テ其ノ部隊復員完結トシ其ノ殘置セル部隊ハ最寄部隊ヲ轉屬シ又主力ニ先ンジ一部ヲ輸送セラレタルトキハ之ヲ復員トシ解散（第二十三條ニ據ル豫備役編入、召集解除、除隊、歸休除隊、退官、退職、解職（雇、傭、傭）其ノ他之ニ類スル處置ヲ請フ以下同ジ）セム

二 混成人員ノ輸送ヲ要トスル場合ハ内地ニ到着セル人員ヨリ逐次前號後段ニ準ジ處理スルモノトス

混成輸送ノ結果分割セラレタル部隊ノ復員完結ハ管轄官又ハ乘船區最高指揮官、已ムヲ待ザレバ南方軍總司令官之ヲ決定スルモノトス

聯合國側ノ指示ニ依リ混成輸送セラルル場合ニ於テハ當該部隊長ハ部隊人員出發ニ先ンジ成ルベク速カニ兵ノ旨ヲ管轄官又ハ乘船區最高指揮官、已ムヲ待ザレバ南方軍總司令官ニ報告スルモノトス

三
「一」「二」號輸送ヲ併セ行ヒ又ハ相互ニ行スル場合ハ當時ノ狀況ニ據ジ「一」號又ハ「二」號ニ準ジ復員ヲ實施ス

第七條 復員實施援助ノ爲メ陸軍總司令部ヨリ派遣班又ハ若干人員ヲ上陸地等ニ派遣スルコトアリ

派遣班(又ハ人員)ノ任務左ノ如ク

一、復員部隊ノ業務指導及援助

二、鐵道具ノ他各種ノ機關トノ連絡斡旋

第八條 復員部隊輸送順序區分等ニ關シテハ別ニ命ジス

第九條 離島等ニ在リテ歸還順位ノ關係上復員管區困難ナル部隊アル時ハ内地上陸港灣ヲ管轄ス

ル軍管區司令部ノ區處ヲ承ケ復員ヲ實施セムルコトヲ得

右ノ場合ニ於テハ管區官ハ速カニ部隊(指揮官)名人員數ヲ關係軍管區司令部ニ通報スルト共

ニ總司令部ニ報告スルモノトス

第十條 現地復員ハ部隊ノ實質ヲ有セザル部隊ニテ整理スルヲ以テスルモノニ限リ各軍司令部之

ヲ行ヒ部隊名及完結日ヲ總司令部ニ報告スルモノトス

二、 準 備

第十一條 混成輸送ノ場合ハ隊メ管區官ニ於テ適宜ノ部隊ニ假調成シ輸送及復員ノ實施ニ關シ格

別ニ管區以下ヲ教育指導スルモノトス

第十二條 復員實施ノ爲準備書類左ノ如ク

一、 輸送開始前各部隊ニ於テ準備スルモノ

- 1. 運名簿
- 2. 上陸地機關
- 3. 陸軍留守業務部
- 4. 乘船名簿
- 5. 第二十六條ニヨルモノ

2 内地鐵道行先府縣別（津浦以上各線別）人員被服

以下二條 現ニ保管ナル戰時名簿ハ表ハ感謝請求上必受ナルモノニ付整理ノ上各線各款家計司

官印ニ（上陸地派遣班等ヲ總テ）送付スルモノトス

之ヲ燒却又ハ紛失セル部隊ハ履修費（様式ロ）一冊ヲ作製ノ之ヲ本人ニ交付シ且ツ感謝請求ノ

手續キル漢書ニ照シ指導ノ直クモノトス

材料表ハ保管ナルモノハ悉皆之ヲ携行スルモノトス

第六者中未上申ノ功績等類ハ速カニ從來進進進スルモノトス

第七者 解散ニカリ左記被服中此ニ個人ノ着裝ナル被服及贈答途中所送ノ糧食、日用品等

ノ外一箇ノ者ニハ必受ニ履シ切表ノ為ノ被服ヲ交付セラルルコトアルベシ

左記

個人裝備被服器具

路	帽	一	箇	卷	筒	一	組
夏衣	袴	一	組	飯	盒	一	箇
雨外	蓑	一	箇	水	筒	一	箇
真備袴	下	一	組	靴	下	三	足
地下	足袋	一	組	毛	布	一	枚
同上靴	若クハ長靴	一	組	雜	下	一	箇

携帶天幕中幕布

一

...

若

干

備考

本表ハ其ノ標準ヲ示スモノトシテ各部隊ノ現況ニ應ジテ適宜變更スルコトヲ得

第十五條

復員ノ内地に到着シテ給與物ニ配給送問ノ給費ニ關シテハ各管理官ノ外各部隊ニ在

リテモ其ノ地聯合等指揮官ト協議ノ上適宜ナキヲ類スルモノトス

前條復員給費附屬途切等ノ給費ハ五口以下ノ勞メテ乘船前各人ニ交付携帶セシムルモ

ノトス

第十六條

解散ヲ命ゼラレタル陸軍軍人軍屬ニ對シテハ左記ニ依リ退職賞與ヲ給ス

一 軍人軍屬ニ對スル退職賞與額ハ序給。給料(至當金)月額及特定戰地乙タル内地ニ於ケル戰

地等別月額(附表第一)ノ合計額ニ對シテ二ヶ月分トス

二 工廠ノ特定戰地増徴(乙)額ハ個人ノ例ニ依リ口給者ニ在リテハ其給額ノ三十口分ヲ以テ月

額ト看做ス

三 賞與額ニ十圓未満ノ端數アルトキハ十圓ニ切上グ

四 賞與額ハ勤怠ノ差及勤年數等ニ應ジテ適宜減額スルコトヲ得

第十七條

退職賞與金給與ハ其ノ他ノ金錢給與ハ必要トムヲ得ザルモノトシテ外現地ニ於テ支給セザル

モノトス

之方各部隊ハ内地港海上陸復員等ニ退職賞與ヲ支給シ得ル如ク別紙様式例ニ基キ内地港灣到

着迄ニ支給書類ノ準備ヲ完了スルモノトス。但シ留守宅渡費賞與シアル准給以上營外居住下士

官及軍屬ニ對シテハ内地ニ於ケル戦地増徴十一ヶ月分ノ支拂準備ヲ爲スモノトス

二十八條 復員者（第二十三條ノ復員期間満了ノ爲ノ解除者ヲ含ム）ノ退職賞與ハ留守業務部ヨリ其ノ留守宅運送金シアルヲ以テ前條ノ準備ヲ要セザルモノトス

二十九條 第十六條、第十七條其ノ爲ニ要スル金銭ハ上陸地支所ヨリ受領スルモノトス

第二十條 復員部ノ保管シタル兵符金使用強領ハ臨時車專費收入ニ納入スルモノトス

第二十一條 金銭及物品類（受領）簿並ニ出納証憑書類ハ從來ノ規定等ニ拘ラズ爲シ得ル限り

ニ移轉スルモノトス

第二十二條 現地ニ於テ未支給ノ金銭給與ハ上陸地ニ於テ支給シ得ル如ク受領証憑書類（各科目

）ヲ準備スルト共ニ各人ニ給與總報ヲ繕行セシムルモノトス

三、賞 處

第二十三條 復員部人員中現役武官（少佐以上ヲ除ク）ニ在リテハ所屬部ニ復員ト共ニ豫備役

ト入セラレタルモノトス

第二十四條 復員部以上ノ内地支管區司令官復員前ニ在リテハ其ノ所屬部ニ復員完結日ヲ以テ其ノ上陸

地ニ在リテ復員部ニ在リテハ豫備役ニ加入スルモノトス

第二十五條 同待遇者（他省及民間出身者ヲ含ム）ハ部ニ復員ト同時ニ文官分限令第四條ノ趣旨

依リ退官、退職セシメラレタルモノトス

第二十六條 所屬ニシテ内地歸還前復員期間満了スル者ハ其ノ満了ノ時ヲ以テ部ニ長ニ於テ復員ヲ解除シ

テ其ノ應得給與ニ移シ給與ハ從來ノ規定ニ依リ給與スルモノトス

第二十七條 復員部ニ在リテハ其ノ所屬部ニ復員完結日ヲ以テ其ノ上陸地ニ在リテ復員部ニ在リテハ豫備役ニ加入スルモノトス

第二十八條 同待遇者（他省及民間出身者ヲ含ム）ハ部ニ復員ト同時ニ文官分限令第四條ノ趣旨

依リ退官、退職セシメラレタルモノトス

第二十九條 所屬ニシテ内地歸還前復員期間満了スル者ハ其ノ満了ノ時ヲ以テ部ニ長ニ於テ復員ヲ解除シ

テ其ノ應得給與ニ移シ給與ハ從來ノ規定ニ依リ給與スルモノトス

派遣班經由) スルモノトス

其ノ他ノ者ハ除キ(歸休除キ) 召集解除、隊員夜歸入、解職(雇、傭、傭) 徵用解除セシムル

モノトス

以下

陸軍部外ノ官廳ヨリ從軍中ノ文官ニ在リテハ即チ復員ニ件ト從軍ヲ解除シ原所屬廳ニ復歸スル

モノトス

第二十四條 聯合軍團ノ許可アリタル場合ハ現地除キヲ行フコトヲ待其ノ細部ハ別ニ定ム

第二十五條 入院患者ハ左ノ如ク處理スルモノトス

一、 病院收容患者ハ内地陸軍病院(内地陸軍病院復員後ニ在リテハ軍事保護院療養所)ニ送送スルモノトシ其ノ輸送ニ關シテハ病院船ニ依ルヲ本則トスルモ細部ハ別ニ定ム

二、 内地陸軍病院復員前ニ於ケル送送患者中人既ヲ要スル者ハ内地港灣到着ノ時ヲ以テ第一收容病院ニ轉局シ爾後ハ轉送ニ件ト送送先病院ニ轉局ス

三、 内地送送患者ニシテ軍事保護院療養所ニ收容セラルル者ハ内地港灣到着ノ時ヲ以テ解散スルモノトス

患者送送ノ者ニシテ任務終了セル者ハ最可派遣班上陸地支局又ハ軍管區司令部ノ指示ヲ受

ク解散スルコトヲ得

四、 現在入院中ノ患者ハ悉皆之ヲ當該病院所在地最寄ノ通管ナル部ニ轉局ス

但シ當該部員復員ノ爲所在地ヲ出發セバハノ最寄部ニ轉局シ以下之ヲ繰返ス

狀況上前項實施不能ノ場合ハ當該病院ニ轉局ス

一 歸還輸送間ニ發生セル患者ニシテ船内ニ於テ延醫ヲ了シ侍ザル患者ハ寄港地最寄病院ニ於テ容スルヲ本則トス

第二十六條 監獄病院及刑務病院ハ患者ノ内地運送又ハ輸送、轉送、終了後復員スルヲ本則トス
但シ此等病院ハ状況ニ依リ最終運送患者ト共一同一病院船ニテ歸還シ復員スルコトヲ得

第二十七條 刑務所（拘禁所ヲ含ム）以下同ジニ於テ行刑中ノ犯人等其ノ他監獄令第一條第一項第一號記載ノ者ニ對シテハ當該刑務所歸還輸送ノ實施時期迄ニ刑期満了ノ者及假出獄見

ノ者ヲ除キ解散スルモノトス
但シ規定スル刑期満了ノ者及假出獄見込ノ者ハ當該刑務所所在最寄ノ道管ナル由以ニ轉局

第一項ニ規定スル手續ヲ終リタル後ニ於テモ其ノ身分ヲ喪失シタル者ニ對スル行刑ハ之ヲ延

續スヘク内地港海上監獄刑務所長（拘禁所長ヲ含ム）（刑務所ノ主力ニ先ンジ一地方輸送セラ

タル場合ニ於テハ先任看守長）ハ速クニ之ヲ地方機關ニ移管スル手續ヲ爲スモノトス

刑務所ノ歸還輸送ニ先ンジ行刑中ノ者ヲ内地ニ歸還スル場合ニ於テハ戒監者タル看守長及看守

ノ外警兵又ハ兵科下士官、兵ヲシテ戒監セシムルコトヲ得、此ノ場合ニ於テハ警兵又ハ兵科下

士官トシテハ當該刑務所ニ轉局セシムルモノトス
前項ノ場合ニ於テハ第六條第一號後段ノ規定ニ準ジ先任看守長ハ第三項後段ニ規定スル移管

ノ手續ヲ爲スベシ
第二十八條 復員ニ方リ現地ニ於ケル乘船地復員ハ南方軍機要規定ヲ準ジ乘船地等ニ軍機要規

關（防疫給本部等ヲ推進シ又ハ被感染人員ニ應ジテ速宜臨時加感ス）ヲシテ之ヲ擔任實施セシムルモノトス

次ニ内地ニ於ケル上陸被感染ハ海港被感染ニヨリ發生省ニ於テ一元帥ニ之ヲ擔任實施ス、而シテ本被感染照疾病ハ五種傳染病（即チペスト、コレラ、炭疽チブス、痘瘡、黃熱）ノ他腸管系傳染病及マフリア、性病ニ關シテモ應ニ實施セラル

但シ乘船被感染卜船内防疫ノ如何ニヨリ本被感染ヲ略定シ待ルヲ以テ各船ニハ必ズ其醫ヲ乗船セシムルモノトス、之ガ爲各船輸送指官ハ傳染病ニ關スル情報ヲ積ヲ失セズ上陸ニ電報スルモノトス

第二十九條 歸還部及ノ輸送業務行班ニ現有衛生材料ハ左記ニ示ルモノトス

- 一、各輸送船ニハ附設第二ノ被感染ヲ備付クルモノトス
- 二、之ガ整備支費ニ關シテハ別ニ示ス
- 三、歸還部及ハ航海日數、乘下留地滞在日數及乗船人員等ニ應ジ乘船區分毎ニ所要ノ衛生材料ヲ準備備付スルモノトス
- 四、前號業務衛生材料ハ各船及現有品ヲ以テ充當シ不足スルモノハ最寄衛生機關ヨリ受領スルモノトス
- 五、歸還部及用衛生材料ハ輸送間不慮災害其ノ他ニ充當スル爲成ルベク之ヲ備付スルモノトス
- 六、歸還部及ノ餘剩材料ハ乘船直前ニ之ヲ最寄衛生機關ニ送附スルモノトス
- 七、受領衛生機關ハ速ニ其ノ品目數等ヲ所屬機關官ニ報告シ之ガ保管ニ任ズルモノトス

三 衛生部員ノ個人用三材料ハ取ルベク之ヲ発行スルモノトス

解散ニ當リテハ要スレバ発行有ニ之ヲ個人支給スルコトアリ

四 前各號ノ発行衛生材料ハ復員地ニ於テ解散ニ先ダテ派配又ハ上陸支局ノ指示ニ依リ派
給スルモノトス

五 復員時後援法ヲ完全ニ終了シアフサル時矢ニ對シテハ其ノ症状ヲ考慮シ所要藥物ヲ個人支
給スルコトアリ

六 二十條 遺骨(遺留品共)ノ送送ハ其ノ所屬部若クハ現ニ之ヲ保管ニ任ジアル部ニ於テ之
ノ責ニ任スルモノトス

七 遺骨(遺留品共)ハ所屬區(將官ニ在リテハ師團區以下同ジ)毎ニ區分セル名簿ヲ附シ
四支隊聯隊司令官ニ送送スルモノトス

八 遺骨(遺留品共)ニ傷キ死残者ニ在リテハ其ノ所屬部ニ於テ一覽表ヲ編製シ各聯隊區司令官ニ
送シ送送ニ通報スルモノトス

九 二十一條 復員人員ニシテ身寄無キ者ハ解散コトナクテ上陸支局ニ收容ノ手續ヲ知ス
モノトス

十 復員人員ハ收容後其ノ地軍管區司令官ノ定ムル一區ニ轉屬シ復後退職軍人職奉還手續ニ於テ
該管區等ヲ實施スル等

三十二條 内地國道運輸等ニ關シテハ左記ニ據リモノトス
一 歸郷者ニ對スル國道乘車證等ハ上陸地ニ於テ發行

三、歸郷者ノ鐵道輸送ハ努メテ各府縣別單位トシ之レニ歸還者中ヨリ適當ナル者ヲ選定シ指揮取締リニ任ゼシムルモノトス

第三十三條 復員部ハ其ノ完結前復員式ヲ行フモノトス

一例左ノ如シ

國歌奉唱

終戰勅語（昭和二十年八月廿七日下賜） 奉讀

復員勅諭（昭和二十年八月二十五日下賜） 奉讀

部長訓示

國歌奉唱

第三十四條 復員實施ニ伴フ報告等ハ左記ニ添ルモノトス

一、復員部職名及完結日 大臣、總司令官宛、各部長

二、混成人員輸送ニ伴ヒ復員セル部隊ノ部員名及完結日

大臣、總司令官宛、第六條ノ「二」、完結日決定官

三、運名簿、留守名簿與勤名簿等、各部長

以上（2ヲ除ク）ハ總司令官又ハ各部長ヨリ上陸部ニ派遣スル人員ニ、向派遣人員無キトキハ上陸部支局ニ提出（總司令官宛ノモノ、之ヲ依托）スルモノトス

第三十五條 各管轄官ハ部下部員主要復員期間向上陸部ニ所要ノ復員補助人員ヲ派遣スルコトヲ得
第三十六條 乘船部員ノ乘船名簿ハ様式（イ）ニ準ジテ船尾船機機關及船長ニ之ヲ提出スルモノトス

第三十七條 聯合團ノ定ムル所又ハ上陸地軍管區司令部上陸地支局等ノ規程ニ因リ本規定ニ従リ
 聯中專領ヲ生ズルトキハ速カニ報告スルモノトス己ムヲ待ザレバ各該隊長ニ於テ適宜本規程ヲ
 修正實施スルモノトス

附表第一、二、三、 第四、五、六、七、八、九、十、	イ規程ノモノニ同ジ
------------------------------	-----------

0384

勤續加俸

一	二	准士官一等	准士官二等	准士官三等	准士官四等	准士官五等	准士官六等	准士官七等	准士官八等	准士官九等	准士官十等
六〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇

二 内地ニ在リテハ大佐一等勲及中佐一等勲ノ者ニハ本表ニ各十五圓ヲ加給ス
 三 陸軍文官ヨリ現役陸軍武官ノ補充ノ特令ニ關スル勅令ニ依リ現役武官ニ任ゼラレタル者ノ受クベキ増俸ノ額従前ノ額ヨリ少キトキハ従前ノ額ヲ給ス

軍屬特定戦地増俸乙（内地ノ額）

高等文官五等以上 官等ニ應ジ人ノ額ニ同ジ

高等文官五等以上	高等文官六等	高等文官七等	高等文官八等以上	列任文官一級俸	列任文官二級俸	列任文官三級俸	列任文官四級俸
九五〇〇	八五〇〇	七五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	八五〇〇

五級 俸

八〇・〇〇

六級 俸以下

六十五圓、但シ俸給月額ノ十分ノ十六ヲ超ユルヲ得ズ

必託員、雇員、傭人

給料月額 三百五十圓以上ノ者

給料月額ノ十分ノ四

但シ其ノ額百七十五圓ニ滿タザルモノハ百一十五圓

三百五十圓未滿二百圓以上ノ者

給料月額ノ十分ノ五

但シ其ノ額百二十圓ニ滿タザルモノハ百二十圓

二百圓未滿百二十圓以上ノ者

給料月額ノ十分ノ六

但シ其ノ額八十四圓ニ滿タザルモノハ八十四圓

百二十圓未滿ノ者

給料月額ノ十分ノ七

但シ其ノ額六十五圓ニ滿タザルモノハ十分ノ十六ヲ超エザル範圍内ニ於テ六十五圓

備 考 一、判任文官、同待遇者、職託員ヨリ高等文官、同待遇者ニ又ハ職託員、雇員、傭人ヨリ

判任文官、同待遇者ニ任用又ハ採用セフレ新ニ受クル増俸ノ額從前ノ額ヨリ少キ時ハ

從前ノ額ヲ支給ス

三、文官待遇者ニシテ恩給法ノ適用ヲ受クルモノノ増俸ハ奏任待遇者ニ在リテハ其ノ受ク

ル俸給月額ニ對シ左ニ掲グル率ヲ判任官待遇者ニ在リテハ俸給同額ノ判任文官又ハ俸

給同額モ近キ下級級俸ノ判任文官ノ増俸下同額ヲ給シ恩給法ノ適用ヲ受ケザルモノ

増俸ハ職託員ニ準ズ

四、十分ノ四

洗	皮	耳	煮	手	手	齒	食	雜	冠	滴	同	液	器	剃	肛	膏	外
	下	鼻	沸	術	術	科	鹽	用				量	用	刀	門	藥	科
珠	注	咽	滅	用	術		水					器	滅	箱	鏡	板	囊
	射	喉	菌	手			注					器	菌				
子	器	械	器	套	衣	囊	射	器	鍍	瓶	〇〇	〇〇	器				

二 五 一 一 五 五 一 一 一 二 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一

筒 具 具 具 組 枚 具 具 筒 筒 筒 筒 筒 具 具 筒 筒 具

(野戰滅菌器)

0390

消毒	脚筒	二	具	(ゴ、言子附ス)
尿器	一〇	筒		
屎器	一〇	筒		
氷	一〇	筒		
捜索	五	筒		
コツヘル	二〇	筒		
ネフトンカテール	一	組		
長検査刺器	一	具		
備考				

一、本表器械ハ輸送船ニ備付クルモノトシ乗船人員一千名ヲ標準トシテ算定シタルモノナルヲ以テ定員ニ應ジ品種ニ依リテハ増減スルモノトス

往復航共同一品種ヲ使用シ損耗セル場合ハ逐次補填スルモノトス

二、本表ノ外状況ニ依リ若干増加備付スルコトヲ待

附表第三

事故退院者恩給診断資料調製要領

(昭一九、一二、二〇) 般醫監第二六九號 恩給要旨

一 説 明

恩給受給資格者ニシテ事故退院シ原隊復歸セルモノ(例ヘバ、輕症ノ四肢切斷者、一眼盲等)ニシテハ恩給取扱手續第十條ニヨレバ「退院時恩給診断ニ必要ナル資料ヲ陸軍病院長ヨリ請求シ隊長ニ交付シ前記公務員退職ノ際當該部以附屬ノ將校ハ前記資料ヲ參考トシ恩給診断書ヲ提出セシムル如ク定メラレアリ

二 調製要領

1. 書類ノ題名ハ「診断書」トス

2. 記述内容ハ所屬部隊、官等氏名、傷(病)名、原因、經過ノ概要、退院時ノ現症、其ノ他必要事項

3. 記述ハ重點ヲ退院時ノ現症ニ指向シ全頁紙一枚以内ヲ以テ完了スル如ル

4. 調製部數ハ三部トス、一部ハ病院保管トシ二部ハ本人及所屬部隊ニ各一部宛交付ス

5. 調製病院ハ病床日誌ヲ作成スル部隊全部トシ之ノ調製官ハ直接診察ニ從事スルモノノ中ノ上

級先任者トス

調製上ノ注意

一 聯隊區（師管區）司令部用ノモノ以外ハ

1 中隊（之ニ準スル部隊、本部等ハ適宜ノ區分）單位ニ調製シ置キ乘船區分ノ變動等

ニ應シ之ヲ適宜ニ併合使用ス

右ヨリ車人軍屬ノ順ニ「アイウエオ」順序ニ全員ヲ列記スルモノトス

2 完結日ノ記入ヲ要セズ

3 「一〇」規程混成人員ヲ以テ復員スル場合ノモノハ最上欄ニ所屬部隊欄ヲ設ケ部隊ヲ

略記（例、歩五〇、獨自三八中等）スルモノトス

二 聯隊區司令部（將官ニ在リテハ師管區司令部）用ノモノ各聯隊區（師管區）毎ニ別紙

トシ各葉毎ニ復員完結月日ヲ洩レナク記入スルモノトス
復員解散セル者ノミトシ轉屬者（現役佐官以上、身寄無キ者等）ヲ記載セザルモノトス

0394

昭和二十	八	十四	陸軍准尉	終戦	第〇〇師團司令部
	三	一			
	八	二十		西貢着	
	八	四		宇品港出發	
昭和十七	七	二十八		臨時召集ニ依リ歩兵第〇聯隊ニ應召	
	九	十五	陸軍曹長	勅令第五八〇號ニ依リ	
	六	三十		召集解除	
	六	二十		治愈退院復歸	
	一	三		歩兵第〇〇聯隊補充隊ニ轉屬	
昭和十五		三		宇品上陸廣島陸軍病院收容	
	十二	三十		内地還送ノタメ上海出發	
	十二	四		上海〇〇病院收容	
	十一	(不詳)		〇病ニ依リ南京〇〇病院ニ入院	
昭和十四	九	二十	歩兵曹長		歩兵第〇〇聯隊
昭和十三	四	二十	歩兵軍曹		歩兵第〇〇聯隊
		二十		上海港上陸	
	八	九		支那派遣ノタメ宇品港出發	
昭和十二	七	三十一		充員召集ノタメ歩兵第〇〇聯隊ニ應召	
	八	十		召集解除	
昭和十一	七	二十		勤務演習ノタメ歩兵〇〇聯隊ニ入隊	
		二十八		豫備役	
		二十七		現役延期停止除隊	歩兵第〇〇聯隊
		二十五			

0396

様式 (ハ)

遺骨遺留品ニ關スル連名簿

固有部隊名

所屬部隊	第二十一師 團司令部	死官 亡 前 後	氏名	本籍地	留守擔當者	死亡年月日	死亡原因	死亡場所	遺留品	備考
步兵第〇聯 上等兵 兵長	上等兵		山川三郎	群馬縣 新町	妻 川野 あき	昭二 一八三〇	戰死	佛印	有	遺失
	川野清		〇村本郡 一山一六	群馬縣 新町	絹子	昭二 一八三〇	戰死	佛印	有	
	同上									
	同上									
	同上									
	同上									
	同上									
	同上									
	同上									

調製上ノ注意

- 1 遺留品ハ別ニ目錄ヲ附スルモノトス
- 2 本籍地聯隊區(師管區)別ニ區分スルモノトス
- 3 有骨、無骨者ノ順ニ區分記載シ無骨者ノ上欄外ニハ「無」ト重複註記シ置クモノトス
- 4 遺骨、遺留品無キ者ハ其ノ理由(海没、爆失等)ヲ記載スルモノトス

0398

様式 (二)

右 年 月 日 部隊職官 氏 名 印	證 明 書	身 分 證 明 書	陸 軍	年 何 月 日 生 某	本籍地	現住所	役種	學	歷	特 技 及 在 隊 間 從 事 業 務	希望職業	扶養家族	賞 罰	備 考					
					1	續柄 氏名 年 齡	2	續柄 氏名 年 齡	3	續柄 氏名 年 齡	續柄 氏名 年 齡	計	既健康 狀 症	入營應召前 職 業	希望地	希望地	希望地		
					兵種	在隊期間	現役 召 至 自	現役 召 至 自	出身別	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
					計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

0399

様式 (一)

部 隊 略 歴 第何師團 第何隊長 何 某

昭和十七年四月滿洲ヨリ轉進 爾後馬來警備

昭和十九年三月緬甸ニ轉進 何々作戦中何々附近ニ於テ將校三、下士官兵〇〇戰死行方不明

自昭和十九年四月 日 約〇〇〇負傷入院セルモ其ノ後不明ナリ

至同 年五月 日 約〇名敵手ニ入リタル疑アリ

歴代部隊長名 1 大佐 何 某 2 大佐 何 某 3 中佐 何 某

部隊事情精進者 住所 群馬縣伊勢崎市築町二三 陸軍准尉 山野 三 郎

記載上ノ注意

一、本隊歴ハ後日損耗人員ノ處理等ノ資料ナルヲ以テ修飾ヲ避ケ有リノママニ記載ス

0401

ニ、最近ノ事情特ニ損耗、行方不明人員ヲ生ジタル前後ノ關係ヲ明カナラシメ其ノ他ハ概略
ニ止ム

三、部隊事情精進者ハ二名以上適宜ノ人員ヲ記載ス

四、其ノ他現ニ保管シアル人名簿等ニテ参考トナルベキ書類（例ヘバ連名簿、職員表等）ハ
適宜ニ之ヲ添附ス

0402